

令和2年度

教育委員会の権限に属する事務  
の管理及び執行の状況の点検  
及び評価の結果に関する報告書

(対象年度:令和元年度)

日立市教育委員会



# 目次

## 第1章 教育委員会の事務の点検及び評価制度の概要

1 趣旨	1
2 目的	1
3 対象	1
4 実施方法	1
5 評価	1
6 今後の取組	2
7 日立市教育行政点検評価委員	2

## 第2章 施策評価

1 令和元年度施策評価一覧	3
2 施策評価調書	5
3 目標指標の達成状況	36

(日立市教育振興基本計画)

## 第3章 教育委員会の活動状況

1 教育委員会	37
2 教育委員会の会議の状況	37
3 教育委員の活動	39

## 第4章 教育行政点検評価委員からの御意見

### 【表紙・裏表紙のイラストについて】

「ひたち大好き博士」事業のマスコットキャラクター



助手の Tako



Dr.ひたち



Dr.さくら

「ひたち大好き博士」  
地域の行事等への参加や、公共施設での見学・体験などをポイント制で評価し、「ひたち大好き博士」に認定します。

#### 【Dr.ひたちの説明】

日立のことは何でも知っているスーパー博士  
髪の色：市の木ケヤキ、ほっぺ：さくら、靴：ウミウ  
(原画：山村颯太さん(十王中学校))

#### 【Dr.さくらの説明】

Dr.ひたちのような博士を目指し修行中のフレッシュ博士  
髪の色：春に咲くきれいなさくら色、Tシャツ：きれいな海  
(原画：田中奈央さん(助川中学校))

#### 【助手の Tako の説明】

二人の活躍を見守る頼もしいアシスタント

# 第1章 教育委員会の事務の点検及び評価制度の概要

## 1 趣旨

平成19年6月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が一部改正され、平成20年4月から、全ての教育委員会は、毎年度、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価(以下「点検・評価」という。)を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、これを公表することが義務付けられています。

また、点検・評価を行うに当たり、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされています。

この報告書は、同法の規定に基づき、日上市教育委員会が行った事務の点検・評価の結果をまとめたものです。

## 2 目的

日上市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況を自ら点検・評価し、教育行政の課題や取組の方向性を明らかにし効果的な教育行政の推進に資するとともに、その結果を公表し市民への説明責任を果たしていくことを目的とします。

## 3 対象

令和元年度に、教育委員会が管理・執行した主な事務を点検・評価の対象とします。

## 4 実施方法

### (1) 内部評価

日上市教育振興基本計画の特徴である「未来を拓くプロジェクト」及び「『ひたらしさ』を活かした取組」に位置付けられた施策ごとに、施策評価調書を作成し、内部評価を行いました。

### (2) 外部評価

施策評価調書の各施策について、教育に関し学識経験等を有する外部の方々(以下「教育行政点検評価委員」という。)から評価をいただくとともに、御意見、御助言をいただきました。

## 5 評価

「令和元年度における取組の内容」、「令和元年度における取組の成果」、「残されている課題」等を総合的に判断し、今後の方向性を示すことで評価とします。

あわせて、施策ごとの全体的な評価として、日上市教育振興基本計画の目標指標に対する各年度の実績を示すことで評価とします。

## 6 今後の取組

教育委員会では、今回の外部評価でいただいた御意見、御助言をもとに検討を進め、今後の事業へのフィードバックを行い、「将来を担う人材を育成するとともに、豊かな文化を育む」教育行政の推進に努めていきます。

## 7 日立市教育行政点検評価委員

(順不同、敬称略)

氏名	所属
岩波 英一	元学校長
黒澤 秀子	日立市社会教育委員
木村 雅史	日立市立小・中学校 PTA 連合会顧問

### 【参考】

#### 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）[抜粋]

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

### 【第2章 施策評価における施策評価調書(様式2)中の担当課所略号について】

課所	略号
教育委員会総務課	(教総)
学校施設課	(学施)
学務課	(学)
生涯学習課	(習)
スポーツ振興課	(スポ)
指導課	(指)
郷土博物館	(博)
記念図書館	(記図)
多賀図書館	(多図)
十王図書館	(十図)
南部図書館	(南図)
教育研究所	(教研)
視聴覚センター	(視セ)
北部学校給食共同調理場	(北調)
南高野学校給食共同調理場	(南調)

## 第2章 施策評価

### 1 令和元年度施策評価一覧

【目標とする日立市の将来都市像】 日立市総合計画より  
生活未来都市・ひたち ～知恵と自然が響き合い、くらしを明日につなぐまち～

【基本理念】 日立市教育振興基本計画・日立市教育大綱より  
未来を拓く人づくり

○教育振興基本計画 P12～15 に記載した8項目を施策として位置付け、その取組を評価しました。

1 未来を拓くプロジェクト	
	(1) 確かな学力の育成
	(2) 教育環境の向上
	(3) 放課後や休日の活動環境の充実
	(4) 文化財の活用
	(5) スポーツの振興
2 「ひたちらしさ」を活かした取組	
	(6) 未来を拓く力を育む学校教育
	(7) 生きがいや喜びを見出す生涯学習
	(8) 健康と活力を生み出すスポーツ

## 【日立市教育大綱(令和元年12月策定)について】(抜粋)

日立市教育大綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3の規定に基づき、本市の教育が目指す基本的な考え方を明らかにするものです。

### ○基本理念 未来を拓く人づくり

#### ～笑顔・元気、そして未来へ～

子どもたちの夢が、まちの未来を拓きます。  
ひたちらしさを活かした教育で、大きな可能性を伸ばしたい。  
まち全体で、子どもたちの笑顔と元気を育みます。

#### 家族が好き【愛情を感じながら、健やかに育つ】

安心して子育てができる環境を整え、子どもの健やかな心と体を育む家庭の教育力の向上を目指します。

#### 学校が好き【なりたい自分を夢見て、主体的に学ぶ】

夢や希望をもち、グローバル化や技術革新の進む時代を生き抜くための確かな学力を育む教育を目指します。

#### ◆ 友だちが好き【みんなと一緒にだから、毎日が楽しい】

いじめをなくし、不登校を生まないために、お互いが認め合い、未来への夢を描くことができる子どもたちを育てます。

#### ◆ 先生が好き【愛情と熱意があふれる、授業は楽しい】

生き生きと充実して、先生が子どもたちに向き合うことができる環境を整えます。

#### ひたちが好き【まちのいいところを発見して、未来を描こう】

海と山に恵まれた豊かな自然、歴史や伝統・文化など、ひたちのルーツを学び、郷土を誇りに思う教育を目指します。



人は一生学び続けるもの。  
文化や芸術、スポーツなどに親しみながら、  
市民一人ひとりが輝くための「教育」を応援します。

計 画 期 間

令和5年度まで

※ 日立市教育大綱は、日立市教育委員会のホームページに掲載されています。  
(<https://www.city.hitachi.lg.jp/kyouiku/shiryo/kyouikutaikou.html>)

## 2 施策評価調書

### 〔施策1〕 <未来を拓くプロジェクト> 確かな学力の育成

#### 施策目的

社会のグローバル化や技術革新が急速に進む中で、多様性を尊重し、国際社会に通用するコミュニケーション能力を養うとともに、基礎・基本の定着や自ら学び考える確かな学力を育成します。

#### 目標指標

施策の柱		目標指標	基準値 (H30)	実績値	目標値 (R5)	出典
				(R元)		
1 学校教育	①	確かな学力の定着と活用する力の育成	算数・数学の授業の内容がよく分かる割合 小 84.2% 中 72.5%	小 86.1% 中 79.1%	小 85.0% 中 76.0%	全国学力・学習状況調査
	②	子ども一人一人に寄り添う教育の推進	学校生活に満足している割合 小 61.0% 中 70.0%	小 65.8% 中 62.1%	小 65.0% 中 75.0%	hyper-QU
	③	豊かな心と健やかな体を育む教育の充実	体力・運動能力調査における総合評価(A+B)の割合 小 64.3% 中 70.1%	小 62.7% 中 67.4%	小 65.0% 中 70.5%	全国体力・運動能力調査
	④	次代を担う力を磨き高める教育の推進	中学3年生の英語の熟練度(英検3級程度以上)の割合 40.5%	53.6%	50.0%	英語教育実施状況調査



皆さんの意見を聞かせてください(久慈中学校)



施策名	<未来を拓くプロジェクト>確かな学力の育成
担当課	学校施設課、指導課、教育研究所、視聴覚センター

**【施策目的】**  
 社会のグローバル化や技術革新が急速に進む中で、多様性を尊重し、国際社会に通用するコミュニケーション能力を養うとともに、基礎・基本の定着や自ら学び考える確かな学力を育成します。

【令和元年度における取組の内容】	【令和元年度における取組の成果】
<b>ア 確かな学力の育成</b> (ア) 学校訪問の実施 (イ) 若手教員の授業力向上のための研修実施 (ウ) 県学力診断のためのテストの実施と結果の分析・活用、知能検査の実施 (エ) 校外学習の実施(星空学習、郷土学習) (オ) 「家庭学習の手引き」の配布	(イ) 初任者研修において、教育長、教育委員を交えた情報交換会を行い、意欲向上を図るとともに、教師としての基礎的・基本的な資質・力量を育成することができた。 (ウ) 児童生徒の学力の実態を把握し、補充指導等を通して、学力の定着を図るとともに、指導方法の改善を進めた。 (エ) 星空学習で日立シビックセンター科学館天球劇場、郷土学習で郷土博物館等を見学することで、天体学習や郷土日立への理解を深めることができた。
<b>イ 新学習指導要領による授業の実践</b> (ア) 小学校英語教育における校内研修支援 (イ) 小学校日本人外国語指導助手ボランティアの配置 (ウ) 道徳教育の教科化への対応 (エ) プログラミング教育の充実	(ア) 学級担任が授業を行い、学校が抱える課題等を協議する研修支援を実施したことで、授業改善や英語指導力の向上につながった。 (イ) 配置希望のあった22校にボランティアを配置し、児童の学習支援に当たることで、よりきめ細やかな学習指導につながった。 (エ) 令和2年度から小学校で必修化となるプログラミング教育が円滑に実施できるように、ハンドブックを作成し小・中・特別支援学校に配布した。
<b>ウ 小中連携・一貫教育の推進</b> (ア) 各小・中学校での小中連携の取組推進 (イ) 中里小中一貫教育実施に係る環境等の整備 (ウ) 中里小中一貫教育の成果を活かした小中一貫教育導入の検討・推進	(ア) 小中合同の研修会や相互交流等により、小中が協働して子どもを育てる意識が高まり、相互の連携を深めた。 (イ) 中里小中一貫校校舎改築に係る基本・実施設計業務を委託し、一貫校における良好な学習環境及び生活環境の在り方を踏まえた設計が完了した。 (ウ) 中里小中学校のコミュニケーション科の学習内容を充実させることにより、9年間を見通したコミュニケーション能力の育成を推進した。
<b>エ 情報活用能力の育成</b> (ア) 各種情報を収集・整理・活用する場の工夫・充実 (イ) 地域社会や民間団体と連携を図った情報モラル教育の実践 (ウ) 校内外研修による教師のICT活用能力の向上 (エ) 映像制作学習の実施(東小沢小)	(ア) パソコン等を活用し、必要な情報を収集・整理・活用する場を設定することで、情報活用能力の充実を図った。 (ウ) 教科学習等の目標達成を図るためのICT活用の在り方について校内研修を実施し、教職員のICT活用能力の向上を図った。 (エ) 映像制作活動を通して、情報発信能力及び情報モラルの向上が図られるとともに郷土、学校や仲間への理解が深まった。
<b>オ 英語教育の充実</b> (ア) ALTの配置による英語教育の充実 (イ) 英語体験活動の実施	(ア) 各発達段階に応じて、英語に触れる機会が増え、英語によるコミュニケーション能力が高まった。 (イ) オールイングリッシュの環境で英語を学ぶ研修を行い、プレゼンテーションによる発表会を実施することで、英語による発信力が高まった。

**【課題(施策目的を達成する上で克服すべきこと)】**

ア 確かな学力の育成  
 ・各単元の個々の授業を「学習課題」と「まとめ」が明確な授業(1時間完結型授業)に質を高めていく必要がある。  
 ・教職員を対象とした各種研修の実施に当たっては、子どもたちと触れ合う時間を確保できるよう配慮する必要がある。

イ 新学習指導要領による授業の実践  
 ・小学校においては、全ての教職員が不安なくプログラミング教育を実践できるようにする必要がある。

エ 情報活用能力の育成  
 ・情報及び情報手段を主体的に選択し活用していくための個人の基礎的な資質・能力の育成を図る必要がある。

**【内容、成果、課題を踏まえた今後の取組の方向性】**

ア 確かな学力の育成  
 ・目標を達成した児童生徒の具体的な姿を明らかにし、その姿を実現するために必要な学習課題や発問を準備する。  
 ・日立市教育研究会や県主催の研修会との調整を図り、共同開催するなど研修回数を精査し、研修の効率化を図る。

イ 新学習指導要領による授業の実践  
 ・プログラミング教育の研究員を中心に校内研修を実施することにより、全ての教職員がプログラミング教育を抵抗なく取り組めるようにする。

エ 情報活用能力の育成  
 ・今年度から小学校で実施される「プログラミング的思考を育む教育」により、情報活用のための基本的技能の向上と情報発信の目的・効果・影響について考察できる資質・能力の育成を図る。

**<目標指標>**  
**1-②学校生活に満足している割合**  
 中学生の割合が減少している要因としては、学校生活での意欲や人間関係など、生徒の置かれている状況を踏まえた支援が十分ではないことが考えられる。今後は、hyper-QUIにより得られたデータを学校全体で分析し、実態に応じた支援策により、子どもの良さが生かされる学級づくりを行う。

**1-③体力・運動能力調査における総合評価(A+Bの割合)**  
 A+Bの割合を男女別で比較すると、(小学校)男子57.8%、女子67.7%(中学校)男子55.0%、女子81.0%であり、男子の体力向上が課題の一つであると考えられる。今後は、学習のねらいを明確にし、「できること、分かること、関わること」をバランスよく組み込んだ体力学習の展開を図り、体力向上につなげていく。



#### 【点検評価委員からの御意見】

- ・小学校英語教育や道徳教育の教科化など、新学習指導要領の授業の実践に伴う教育現場の新しい取組に対して、教育委員会のバックアップ体制がなされているのはとても心強い。特に、プログラミング教育のハンドブックを作成したことについては、教員の支援になると考える。
- ・新任の教員の離職率が増加傾向にあるが、新任の教員が辞めないように、指導やサポートをしっかりと考えてほしい。
- ・中里中学校の良好な学習環境、地域の環境や人とのつながりは、小中連携・一貫教育の推進による大きな成果と考える。
- ・映像制作学習の実施について、東小沢小の特色が出ていて郷土愛や生き生きとした映像の中に、児童たちの映像制作への意気込みが見られ、とてもすばらしい作品だった。是非「ひたちらしさを活かした取組」として、継続して取り組んでほしい。

施策名

<未来を拓くプロジェクト>確かな学力の育成

施策を構成する実施計画事業の状況

事業名称	担当課	令和元年度		令和2年度の取組
		実施内容	平成30年度からの変更点	
ア 確かな学力の育成	(指) (教研)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校訪問の実施</li> <li>○県学力診断のためのテストの実施 (小学3年生～中学3年生)</li> <li>○星空学習の実施(小学4年生) ・プラネタリウム・科学館、公共施設等の見学</li> <li>○郷土学習の実施(小学6年生) ・郷土博物館、小平記念館、日鉱記念館等の見学</li> <li>○家庭学習の手引きの配布(小学1年生)</li> <li>○教育実践上の課題解決及び教育専門職としての資質・職能の向上を図るための研修の実施 ・階層や経験に応じた研修等(26講座、延べ1,602人参加)</li> </ul>	—	【継続】
イ 新学習指導要領による授業の実践	(指) (教研)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「日立の学校教育」に、道徳科の指導案の活用及び日立市の道徳教育の重点事項を掲げた。</li> <li>○教育課題調査研究会による教育課題の調査・研究及び成果の普及 ・研究テーマ「小学校プログラミング教育実施に向けての準備と実践」 ・ハンドブック「日立市の小学校プログラミング教育～Let's PROGRAMMING for Hitachi kids!～」を作成し、小・中・特別支援学校に配布した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日立市の重点項目を掲げた。</li> <li>○学習指導要領の改訂に対応するため、小学校プログラミング教育の年間指導計画を作成した。</li> <li>○プログラミング教育の年間指導計画と指導案等をまとめた研究報告書を作成した。</li> </ul>	【継続】
ウ 小中連携・一貫教育の推進	(指) (学施)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中里小中一貫教育を柱とした小中連携教育の推進</li> <li>○各中学校区の小中連携教育の推進</li> <li>○中里小中一貫校舎改築に係る基本・実施設計業務の委託</li> </ul>	—	【拡充】
エ 情報活用能力の育成	(指) (視七)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校教育の情報化推進指針の策定及び学校への周知</li> <li>○学校における教育の情報化の実態等に関する調査の実施</li> <li>○映像制作学習事業(東小沢小)</li> </ul>	—	【継続】
オ 英語教育の充実	(指)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小・中・特別支援学校及び幼稚園へのALTの配置 (市雇用 4人、民間 20人)</li> <li>○市雇用ALTの活用 ・姉妹都市に関する事業への協力 ・英語体験活動への協力</li> <li>○英語体験活動の実施 ・ステップアップコース(参加者数 30人) 英検3級程度以上の中学生を対象とした2泊3日の研修(プリティッシュヒルズ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○民間ALTを増員(1名)した。</li> <li>○チャレンジコース(中学生を対象とした語学研修)、スタートコース(小学5、6年生を対象とした3日間の英語体験)は終了した。</li> </ul>	【継続】

## 〔施策2〕 <未来を拓くプロジェクト> 教育環境の向上

### 施策目的

人口減少や少子化の深刻化、学校の担う役割が拡大している社会情勢の中で、これからの時代を生きる子どもたちの、学びを支えるため、学校・家庭・地域が連携しながら、教育環境の向上を図ります。

### 目標指標

施策の柱		目標指標	基準値 (H30)	実績値	目標値 (R5)	出典
				(R元)		
1 学校教育	⑦ よりよい教育環境づくりのために	児童生徒一人一人のよい点や可能性を見つけ、褒める取組を行った学校の割合	小 68.0% 中 80.0%	小 72.0% 中 93.3%	小 100% 中 100%	全国学力・学習状況調査



学校運営協議会（会瀬小学校）

# 施策No.②

# 施策評価調書 (様式1)

評価対象年度 令和元年度

施策名	<未来を拓くプロジェクト>教育環境の向上
担当課	学校施設課、学務課、指導課

## 【施策目的】

人口減少や少子化の深刻化、学校の担う役割が拡大している社会情勢の中で、これからの時代を生きる子どもたちの学びを支えるため、学校・家庭・地域が連携しながら、教育環境の向上を図ります。

## 【令和元年度における取組の内容】

ア 学校施設の整備  
 (ア) 校舎等の改築・大規模改修事業の実施  
 (イ) トイレなどの各種改修の実施  
 (ウ) 日常的な修繕による安全・安心な学習・生活環境の整備

## 【令和元年度における取組の成果】

(ア) 豊浦小学校の校舎改築がしゅん工したことにより、校舎の耐震化が図られたとともに、良好な学習環境及び快適な生活環境が確保された。  
 ・久慈小学校の屋内運動場改築工事に着手し、令和2年度の完成に向けて計画どおり進めることができた。  
 ・日高小学校の校舎改築工事に着手し、令和2年度の完成に向けて計画どおり進めることができた。  
 ・中里中学校の校舎改築の基本・実施設計が完了し、学校における良好な学習環境及び快適な生活環境を確保した設計を取りまとめることができた。  
 ・十王中学校の屋内運動場改築の基本・実施設計が完了し、体育や部活動環境の拡充及び避難所機能を確保した設計を取りまとめることができた。  
 (イ) 小学校2校、中学校1校のトイレ改修が完了したことにより、児童生徒の生活環境が改善された。また、全普通教室等へのエアコン設置が完了したことにより、良好な学習環境及び快適な生活環境が確保された。  
 (ウ) 日常の点検や学校からの連絡により確認された不具合箇所について、速やかに修繕したことや、危険木の伐採を実施したことにより、施設の安全確保が図られた。

イ 学校運営協議会制度の推進  
 (ア) 学校運営協議会の設置と活動の推進

(ア) 平成30年度に9校設置した学校運営協議会モデル校を、令和元年度に学校運営協議会試行設置校28校に拡充したことにより、学校、保護者、地域それぞれが責任をもって教育に携わろうとする意識が高まった。

ウ 学校再編  
 (ア) (仮称)学校再編計画の策定と推進

(ア) 適正配置検討委員会を年度中に6回開催し、学校再編計画(素案)の検討を行った。また、会議では、委員それぞれの立場から幅広く意見をいただくことができ、それらを生かしながら素案づくりを進めることができた。

## 【課題(施策目的を達成する上で克服すべきこと)】

イ 学校運営協議会制度の推進  
 ・学校運営協議会試行設置校での実施内容を踏まえて課題を整理し、制度導入に必要な事項を検討、準備する。  
 ウ 学校再編  
 ・学校再編の目的や再編の基本的な考え方(進め方)について、保護者や地域の理解を得る必要がある。  
 ・市民と共子どもたちの環境づくりを進めるとい基本方針を踏まえ、引き続き保護者や地域の意見を広く聴取しながら、(仮称)学校再編計画の策定作業を進めていく必要がある。

## 【内容、成果、課題を踏まえた今後の取組の方向性】

イ 学校運営協議会制度の推進  
 ・令和2年度中に、学校運営協議会を全ての小・中・特別支援学校で試行実施する。(計41校)  
 ・令和3年度の本格実施に向けて、学校運営協議会規則を制定する。  
 ウ 学校再編  
 ・最も影響を受ける保護者を始め、地域住民の思いや意向などを十分に踏まえて、丁寧かつ柔軟に学校再編計画の策定作業を進めていく。  
 ・今後、学校再編計画(素案)がまとも次第、できる限り速やかに、広く市民に周知し、意見聴取する機会を設ける。  
**<目標指標>児童生徒一人一人のよい点や可能性を見つけ、褒める取組を行った学校の割合**  
 前年度実績を上回っていることから、今後も継続して各施策の推進を図る。

## 【点検評価委員からの御意見】

・校舎改築等やエアコン設置など、学習環境や快適な生活環境の確保に向けた取組が一つずつ進められていることは、児童生徒にとってプラスであると考え。また、全普通教室等へのエアコン設置完了は、学習環境が改善され、児童生徒本人や保護者のみならず、市民にとっても大きな安心であると考え。  
 ・家庭のトイレの環境向上に伴い、学校のトイレの改修は、精神衛生上も必要不可欠だと考える。  
 ・学校再編では、第一に児童生徒の立場を優先し、より良い環境を担保することが責務である。また、学区が変わることで通学路の変更等が生じ、不安を感じる保護者もいると思うので、子どもたちの安全性を考慮して、早めに素案をまとめていただき、検討を進めてほしい。

施策名

<未来を拓くプロジェクト>教育環境の向上

施策を構成する実施計画事業の状況

事業名称	担当課	令和元年度		令和2年度の取組
		実施内容	平成30年度からの変更点	
ア 学校施設の整備	(学施)	(ア) 校舎等の改築・大規模改造事業の実施 a 久慈小学校校舎・屋内運動場改築事業 ・校舎解体工事、屋内運動場改築工事 b 豊浦小学校校舎改築事業 ・校舎改築工事、校舎大規模改造工事 c 日高小学校校舎改築事業 ・校舎改築工事 d 中里中学校校舎改築事業 ・基本実施設計業務委託 e 十王中学校屋内運動場改築事業 ・基本実施設計業務委託、埋文発掘調査 (イ) トイレなどの各種改修の実施 a トイレ改修工事 ・金沢小、河原子小、駒王中 b 普通教室等エアコン設置工事 ・小学校19校、中学校12校	—	【拡充】
イ 学校運営協議会制度の推進	(指)	○学校運営協議会の試行設置 (各小学校、駒王中、中里中、豊浦中) ○学校運営協議会制度全体研修会の開催 (参加人数 116人)	学校運営協議会試行設置校を9校から28校に拡充した。	【拡充】
ウ 学校再編	(学)	○学校適正配置検討委員会の開催(計6回) ・学校再編計画(素案)の検討を行った。	—	【継続】





## 〔施策3〕＜未来を拓くプロジェクト＞ 放課後や休日の活動環境の充実

### 施策目的

核家族化や共働き世帯の増加など、一人で過ごすことの多い子どもが増えていることから、放課後や休日を有意義に活動できる安全・安心な居場所や地域の大人とふれあえる環境を整備します。

### 目標指標

施策の柱		目標指標	基準値 (H30)	実績値	目標値 (R5)	出典
				(R元)		
1 学校教育	⑥ すべての子どもたちが安全・安心に過ごせる居場所づくり	放課後子ども教室の開設数	3か所	5か所	25か所	市独自指標値



放課後子ども教室（田尻小学校）

# 施策No.③

# 施策評価調書

(様式1)

評価対象年度

令和元年度

施策名	<未来を拓くプロジェクト>放課後や休日の活動環境の充実
担当課	生涯学習課

## 【施策目的】

核家族化や共働き世帯の増加など、一人で過ごすことの多い子どもが増えていることから、放課後や休日を有意義に活動できる安全・安心な居場所や地域の大人とふれあえる環境を整備します。

## 【令和元年度における取組の内容】

ア 放課後子ども教室の推進  
(ア) 放課後子ども教室の運営及び拡充

## 【令和元年度における取組の成果】

(ア) 新規教室を2教室増やし5教室開設することで、子どもたちが安心して過ごすことのできる居場所を拡充することができた。また、子ども教室で実施した体験活動や異学年交流等は、児童の豊かな心や社会性を育む貴重な場となった。

イ 子どもの地域活動への参加推進  
(ア) 「ひたち大好き博士」制度の実施  
(イ) 制度普及、啓発のためのキャラクター活用による広報活動の実施

(ア) 公共施設使用料の無料化やひたち大好き博士認定制度によって、子どもたちの市内公共施設の利用促進や、地域のイベント参加のきっかけづくりができた。  
(イ) 中学生が考案したキャラクターを活用した、ひたち大好きパスポート、ひたち大好き博士認定記念バッジ及びチラシ等の配布により、子どもたちの地域の行事参加への関心を高めることができた。

ウ はてな？に答える学習室の運営  
(ア) はてな？に答える学習室の運営

(ア) 学習室は、中・高校生の自主学習の場として定着し、平日夜間及び休日は満席状態となるほど利用者も多い。

## 【課題(施策目的を達成する上で克服すべきこと)】

ア 放課後子ども教室の推進

・教室開催には、学校施設など活動場所(余裕教室、体育館等)と運営主体の確保が必要である。

イ 子どもの地域活動への参加推進

・新体制での事業開始から1年が経過し、徐々に認知されているが、更なる事業定着に向け周知が必要である。

・地域活動に関する情報の収集・発信の仕組みづくりが必要である。

・中学生が参加しやすい仕組みづくりが必要である。

ウ はてな？に答える学習室の運営

・小・中学生の放課後における活動範囲が限られるため、利用者が限定される。

・学習室は、中・高校生の自主学習の場として定着し利用者も多く、席の確保等同室での学習支援が難しくなった。

## 【内容、成果、課題を踏まえた今後の取組の方向性】

ア 放課後子ども教室の推進

・令和5年度までに、全小学校への整備を推進する。

・全区において地域が関わる取組とするため、NPOや企業と地域が連携する仕組みを構築する。

イ 子どもの地域活動への参加推進

・令和元年度に続き「ひたち大好き博士」認定状況のお知らせと、各コミュニティのイベント情報を発信し、事業の周知と参加促進を図る。

・各学校に事業周知ポスターを掲示し、事業の周知を図る。

ウ はてな？に答える学習室の運営

・学習室は、中・高校生の自主学習の場として定着したため、学習室開設時に、周知を目的とした小・中学生向けの学習支援は、今年度で終了とする。

・今後は、子どもの安心・安全な居場所の提供(学習環境)として、全小学校での実施を進めている放課後子ども教室において、宿題や予習復習などの学習活動を展開する。

<目標指標>放課後子ども教室の開設数

前年度実績を上回っていることから、今後も継続して各施策の推進を図る。

## 【点検評価委員からの御意見】

・放課後子ども教室の開設が増え、子どもたちが安心して過ごすことのできる居場所が拡充できていることは素晴らしいと考えるが、委託先がNPO法人やコミュニティなどまちまちなので、子どもたちや地域間での不公平感が出ないように、連携を密に行ってほしい。  
・子どもの地域活動への参加推進の一つとして実施している、「ひたち大好き博士」制度に注目したい。

施策名

<未来を拓くプロジェクト>放課後や休日の活動環境の充実

施策を構成する実施計画事業の状況

事業名称	担当課	令和元年度		令和2年度の取組									
		実施内容	平成30年度からの変更点										
ア 放課後子ども教室の推進	(習)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○開設状況</li> <li>【田尻教室】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・開設場所 田尻小学校</li> <li>・委託先 NPO法人 ひたち親子の広場</li> <li>・参加者数 35名</li> </ul> </li> <li>【滑川教室】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・開設場所 滑川交流センター</li> <li>・委託先 NPO法人 滑川ファミリースポーツクラブ</li> <li>・参加者数 28名</li> </ul> </li> <li>【塙山教室】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・開設場所 塙山交流センター</li> <li>・委託先 塙山学区住みよいまちをつくる会</li> <li>・参加者数 30名</li> </ul> </li> <li>【会瀬教室】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・開設場所 会瀬小学校</li> <li>・委託先 会瀬学区コミュニティ推進会</li> <li>・参加者数 30人</li> </ul> </li> <li>【坂本教室】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・開設場所 坂本小学校</li> <li>・委託先 株式会社アンフィニ</li> <li>・参加者数 28人</li> </ul> </li> <li>○開催日 <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎週1回実施(祝日、長期休業期間等は除く)</li> <li>・年間32~34回実施(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため3月は中止)</li> </ul> </li> <li>○主な活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回 宿題等の学習、自由遊び</li> <li>・月1回程度 体験プログラム(児童クラブとの合同プログラム)</li> </ul> </li> </ul>	2教室新設 (会瀬教室、坂本教室)	【拡充】									
イ 子どもの地域活動への参加推進	(習)	<p>今年度から事業を開始し、以下の内容を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「ひたち大好き博士」制度の開始</li> <li>【認定状況】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・初級 142人</li> <li>・中級 9人</li> </ul> </li> <li>○マスコットキャラクターを活用した制度普及・啓発 <ul style="list-style-type: none"> <li>・マスコットキャラクターを活用したひたち大好きパスポートやひたち大好き博士認定記念バッジの作成・配布</li> <li>・長期休業前に市や各コミュニティで行われるイベントを周知するためのチラシを作成・配布 (全国学力・学習状況調査で「今住んでいる地域の事業に参加している」と回答した割合)</li> </ul> <table style="margin-left: 40px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">H30</td> <td style="text-align: center;">R元</td> </tr> <tr> <td>小</td> <td style="text-align: center;">52.8%</td> <td style="text-align: center;">65.2%</td> </tr> <tr> <td>中</td> <td style="text-align: center;">45.4%</td> <td style="text-align: center;">52.2%</td> </tr> </table> </li> <li>○事業周知 <ul style="list-style-type: none"> <li>・長期休業前に、市や各コミュニティで行われるイベントを周知するため、チラシを作成・配布</li> </ul> </li> </ul>		H30	R元	小	52.8%	65.2%	中	45.4%	52.2%	事業名変更 「ひたち大好きパスポート」事業 ⇒「ひたち大好き博士」事業	【継続】
	H30	R元											
小	52.8%	65.2%											
中	45.4%	52.2%											
ウ はてな?に答える学習室の運営	(習)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小・中学生を対象に、自由学習をする中で質問に答えることができるよう学習支援員を配置</li> <li>・実施日数 43日(原則:月曜日、17時~21時)</li> <li>・利用者数 135人</li> <li>・指導員配置数 3人/日</li> </ul>	—	【完了】									



## 〔施策4〕＜未来を拓くプロジェクト＞ 文化財の活用

### 施策目的

日立風流物(ユネスコ無形文化遺産)や長者山遺跡(国指定史跡)などの本市固有の文化財を活用し、市民の郷土への理解や関心を高めるとともに、文化財の魅力を広く発信しながら、まちのにぎわいづくりと交流人口の拡大を図ります。

### 目標指標

施策の柱			目標指標	基準値 (H30)	実績値	目標値 (R5)	出典
					(R元)		
2	生涯学習	③ 多様な文化・ 芸術の推進	郷土博物館の入館者数	16,627 人	14,766 人	20,000 人	市独自指標値



ユネスコ無形文化遺産 日立風流物

# 施策No.④

# 施策評価調書（様式1）

評価対象年度

令和元年度

施策名	<未来を拓くプロジェクト>文化財の活用
担当課	郷土博物館

## 【施策目的】

日立風流物(ユネスコ無形文化遺産)や長者山遺跡(国指定史跡)などの本市固有の文化財を活用し、市民の郷土への理解や関心を高めるとともに、文化財の魅力を広く発信しながら、まちのにぎわいづくりと交流人口の拡大を図ります。

## 【令和元年度における取組の内容】

ア 文化財の保存と活用の推進  
 (ア) 文化財の保存・活用に関する計画の策定  
 (イ) 文化財の保存・活用、情報発信の推進  
 (ウ) 日立風流物やささらなどの後継者育成支援  
 (エ) 文化財・資料等に関する調査研究の充実

## 【令和元年度における取組の成果】

(ア)文化財保護法の改正に伴って、文化庁が文化財保存活用地域計画の策定を推奨していることを受けて、新たに策定協議会を設置し、本市文化財の現状把握、他自治体の事例収集、県の文化財保存活用大綱の策定作業の進捗状況などを調査し、日立市文化財保存活用地域計画策定の基礎を整理した。  
 (イ)所蔵資料・文化財を活用し、学校への出前授業等を行った。また文化財に関わる社会科自由研究の支援を行った。  
 (ウ)日立風流物・日立のささらを始めとする無形民俗文化財の後継者育成のため、保存会とともに研修・視察を行うなどの支援・啓発を行った。また神峰神社大祭礼における風流物・ささら公開に当たって開催準備及び開催を支援した。  
 (エ)博物館資料を含む各種資料の収集・展示のほか、文化財の調査・研究を行った。

イ 日立風流物展示施設等の検討  
 (ア) 展示施設の検討

(ア)日立市文化財保存活用地域計画との整合性を踏まえた上で、「日立風流物保存活用計画」及び「日立風流物展示施設等整備基本計画」の策定の整理・検討を行った。

ウ 長者山遺跡の活用  
 (ア) 遺跡の保全と活用

(ア)長者山保存活用計画策定委員会を設置・開催し、「長者山保存活用計画」の策定に向けた整理・検討を行った。また長者山遺跡に関する特別展、講演会、ガイドツアーを実施し、遺跡の説明・案内板等を設置した。

## 【課題(施策目的を達成するうえで克服すべきこと)】

ア 文化財の保存と活用の推進  
 ・文化財保存活用地域計画の策定については、県が策定する文化財保存活用大綱を勘案するとともに、文化庁及び県の動向を注視して進める必要がある。  
 イ 日立風流物展示施設等の検討  
 ・日立風流物展示施設等の検討と併せて、日立風流物の継承(保存)と活用の在り方についての十分な検討と取組の整理が必要である。  
 ウ 長者山遺跡の活用  
 ・長者山遺跡を活用していくためには、将来を見通した計画づくりとともに、見学者の利便性や安全確保のための対応が必要である。

## 【内容、成果、課題を踏まえた今後の取組の方向性】

ア 文化財の保存と活用の推進  
 ・文化財保存活用地域計画は、文化財保存活用地域計画協議会から意見を聴取し、文化庁の指針に基づき策定する。  
 イ 日立風流物展示施設等の検討  
 ・日立風流物の保存活用計画と併せて展示施設整備基本計画の策定に着手する。  
 ウ 長者山遺跡の活用  
 ・長者山遺跡の保存活用計画の策定に着手するとともに、案内看板設置、除草等の簡易整備を行う。  
**<目標指標>郷土博物館の入館者数**  
 特別展示回数の減少などが、入館者数減の要因と思われる。今後は、展示企画を充実させることや、インターネット等を活用した広報の充実化を図ることで、入館者数の増加につなげていく。

## 【点検評価委員からの御意見】

・ユネスコ無形文化遺産である日立風流物の展示施設には、市民の関心も高い。文化財の魅力の発信という意味でも展示施設の検討に期待したい。  
 ・郷土博物館の入館者数の増加を目標に、特別展示などの展示企画の充実を期待したい。長者山遺跡に関する特別展や講演会、ガイドツアーなどの実施は、文化財の魅力の発信につながったと考える。  
 ・郷土博物館を活用し、歴史に触れながら学ぶ楽しさをこれからも子どもたちに教えてほしい。



施策名

<未来を拓くプロジェクト>文化財の活用

施策を構成する実施計画事業の状況

事業名称	担当課	令和元年度		令和2年度の取組
		実施内容	平成30年度からの変更点	
ア 文化財の保存と活用の推進	(博)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第57回日立さくらまつりにおける公開事業</li> <li>○神峰神社大祭礼における公開事業(7年ごと)</li> <li>○文化財愛護協会視察研修</li> <li>○文化財保護審議会開催(全1回)</li> <li>○文化財保存活用地域計画協議会(全3回)</li> </ul>	文化財保存活用地域計画策定事業は新規事業	【継続】
イ 日立風流物展示施設等の検討	(博)	○保存活用計画策定委員会開催(全3回)	—	【継続】
ウ 長者山遺跡の活用	(博)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保存活用計画策定委員会(全1回)</li> <li>○関連特別展示・講演会の実施</li> <li>○案内看板の設置</li> </ul>	—	【継続】



## 〔施策5〕＜未来を拓くプロジェクト＞ スポーツの振興

### 施策目的

スポーツ施設の計画的な整備を推進し、市民ニーズを捉えた施設の利便性の向上を図るとともに、スポーツ合宿の誘致やスポーツに関する情報の提供により、スポーツによるまちの活性化を図ります。

### 目標指標

施策の柱		目標指標	基準値 (H30)	実績値	目標値 (R5)	出典	
				(R元)			
3 スポーツ	②	競技力の向上とスポーツ団体等の活性化	全国大会補助申請実績件数	119 件	121 件	127 件	市独自指標値
	③	スポーツを通じた交流人口の拡大	スポーツ合宿に伴うスポーツ施設利用件数	9 件 (H30.7～ H31.1)	11 件	30 件	市独自指標値



人工芝でベスト・コンディション！（折笠スポーツ広場）

施策名	<未来を拓くプロジェクト>スポーツの振興
担当課	スポーツ振興課

**【施策目的】**  
 スポーツ施設の計画的な整備を推進し、市民ニーズを捉えた施設の利便性の向上を図るとともに、スポーツ合宿の誘致やスポーツに関する情報の提供により、スポーツによるまちの活性化を図ります。

【令和元年度における取組の内容】	【令和元年度における取組の成果】
<b>ア 市民運動公園、スポーツ広場等の施設整備推進</b> (ア) 市民運動公園の計画的な施設の整備 (イ) スポーツ広場等の計画的な施設の整備	(ア) 市民運動公園野球場のスコアボードを改修したことにより、利用環境の向上を図ることができた。また、市民運動公園の臨時駐車場等を整備したことにより、利用者の利便性向上を図ることができた。 (イ) 十王スポーツ広場の柔剣道場に空調設備を設置したことにより、利用環境の向上を図ることができた。また、折笠スポーツ広場の臨時駐車場、滑川市民広場の駐車場を整備したことにより、利用者の利便性向上を図ることができた。
<b>イ スポーツ合宿の誘致推進</b> (ア) スポーツ合宿誘致における公共スポーツ施設優先予約の実施 (イ) 誘致推進に向けた周知、広報活動	(ア) スポーツ合宿誘致における公共スポーツ施設優先予約について関係団体等への周知を行った。 (イ) スポーツ合宿のPRポスター・チラシを作成し、宿泊施設、旅行会社等関係機関へ配布した。
<b>ウ スポーツに関する情報の提供</b> (ア) 全国大会等出場時の懸垂幕等の掲示 (イ) 体育協会広報誌「スポレクひたち」の発行	(ア) 全国高等学校サッカー選手権大会、全国高等学校駅伝、バスケットボール選手権大会及び全国高等学校総合体育大会等の懸垂幕を掲示し、市民のスポーツに関する関心を高めるとともに、まち全体の活性化を図ることができた。 (イ) 体育協会広報誌「スポレクひたち」を年2回(10月、3月)発行し、イベント情報等を掲載するとともに、全国大会等のスポーツ競技大会において優秀な成績を収めた選手等を表彰・掲載することにより、本市のスポーツの振興を図ることができた。

**【課題(施策目的を達成する上で克服すべきこと)】**

ア 市民運動公園、スポーツ広場等の施設整備推進  
 ・スポーツ施設の改修・修繕等には多額の費用が掛かるため、財源を確保するとともに、計画的に進める必要がある。

イ スポーツ合宿の誘致推進  
 ・スポーツ合宿誘致のために、更なるPR活動が必要である。

ウ スポーツに関する情報の提供  
 ・民間のスポーツ施設を含めた情報を提供する必要がある。

**【内容、成果、課題を踏まえた今後の取組の方向性】**

ア 市民運動公園、スポーツ広場等の施設整備推進  
 ・計画的な施設の整備を進めるため、スポーツ施設整備計画を策定する。  
 ・国、県及びスポーツ振興くじ等の特定財源の確保に努める。  
 ・公共施設マネジメント方針に基づき、他施設との共有化や複合化を含め、施設の在り方の検討を進める。

イ スポーツ合宿の誘致推進  
 ・新規のスポーツ合宿を呼び込むため、スポーツ団体やホテル組合等と連携し、チラシやポスターを作成するなど積極的なPR活動を行う。

ウ スポーツに関する情報の提供  
 ・引き続き、市ホームページや広報誌等による情報発信を行う。

<目標指標> 3-②全国大会補助申請実績件数、3-③スポーツ合宿に伴うスポーツ施設利用件数  
 前年度実績を上回っていることから、今後も継続して各施策の推進を図る。

**【点検評価委員からの御意見】**

・スポーツ施設の整備は市民のニーズの要であり、計画的な施設の整備に期待したい。  
 ・各運動公園の利用者はほとんどが車での利用のため、市民運動公園や折笠スポーツ広場の臨時駐車場を整備したことはとても良いと考える。駐車場の整備は、歩行者の安全や周辺の渋滞対策等をしっかり検討して進めてほしい。  
 ・スポーツをしない人は、スポーツ施設の活用や市内のスポーツの情報に関心が低く、池の川さくらアリーナを始めスポーツ施設に行ったことがない人もいると思うので、スポーツ以外の施設活用も検討してほしい。

施策名

<未来を拓くプロジェクト>スポーツの振興

施策を構成する実施計画事業の状況

事業名称	担当課	令和元年度		令和2年度の取組
		実施内容	平成30年度からの変更点	
ア 市民運動公園、スポーツ広場等の施設整備推進	(スポ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市民運動公園野球場スコアボード等改修工事</li> <li>○市民運動公園臨時駐車場整備工事</li> <li>○十王スポーツ広場体育館柔剣道場空調設備設置工事</li> <li>○折笠スポーツ広場臨時駐車場整備工事</li> <li>○滑川市民広場駐車場整備工事</li> </ul>	—	【継続】
イ スポーツ合宿の誘致推進	(スポ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○スポーツ合宿誘致のためのポスター・チラシの作成、配布</li> <li>○スポーツ合宿に伴うスポーツ施設優先利用者数245人(H30年度233人)</li> </ul>	—	【継続】
ウ スポーツに関する情報の提供	(スポ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全国大会等出場時の懸垂幕掲示</li> <li>○体育協会広報誌「スポレクひたち」の発行(10月、3月)</li> </ul>	—	【継続】





## 〔施策6〕＜「ひたちらしさ」を活かした取組＞ 未来を拓く力を育む学校教育

### 施策目的

急速に進む技術革新や社会のグローバル化に対応できるよう、情報教育環境の整備や英語教育の充実を図るとともに、自分のよさや将来の夢を記録する未来パスポートを活用して目標や夢への意欲の向上を図るなど、子どもたちの未来を拓く力の育成を目指します。

### 目標指標

施策の柱		目標指標	基準値 (H30)	実績値	目標値 (R5)	出典	
				(R元)			
1 学校教育	⑤	学習環境の充実と地域とともにある魅力ある学校づくり	ICT機器等(プロジェクタ)の整備率	38.5%	53.0%	80.0%	市独自指標値



タブレットならよく分かるよ！（日高小学校）

施策名	<「ひたちらしさ」を活かした取組>未来を拓く力を育む学校教育
担当課	学校施設課、学務課、指導課、教育研究所、北部調理場

【施策目的】
急速に進む技術革新や社会のグローバル化に対応できるよう、情報教育環境の整備や英語教育の充実を図るとともに、自分のよさや将来の夢を記録する未来パスポートを活用して目標や夢への意欲の向上を図るなど、子どもたちの未来を拓く力の育成を目指します。

【令和元年度における取組の内容】	【令和元年度における取組の成果】
<b>ア 科学学習の推進</b> (ア) 日立理科クラブによる科学教育の充実 (イ) 「理科室のおじさん」の小学校全校への配置 (ウ) 理数アカデミーによる理数教育の支援 (エ) 日立理科クラブ活用法研修会による日立理科クラブの活動支援	(イ) 小学校全校に配置した理科室のおじさんの授業支援により、児童の理科に関する興味・関心を高めることができた。 (ウ) 小学6年生から中学2年生までを対象とした理数アカデミーを開催し、発展的な学習活動の場を提供することで、理科や数学への学びを深めることができた。
<b>イ 未来パスポートの活用</b> (ア) 未来パスポートの配布・活用	(ア) 「未来パスポート」の記載項目や装丁を変えることで、児童生徒の自己肯定感や自己の将来に対する意欲を高めることができた。
<b>ウ 教育環境の充実</b> (ア) 少人数指導教員の配置 (イ) 小・中学校への学校図書事務員の配置 (ウ) 教育相談員の全校配置 (エ) 学校事務員等の配置 (オ) 情報教育環境の整備	(ウ) 14人の教育相談員が中学校を拠点として市内の全ての小・中学校を訪問して相談活動行ったことにより、不登校や発達障害などの早期発見・早期対応を図ることができた。 (オ) 情報教育環境整備として、タブレット型PC、プロジェクタ等の整備・拡充を進めた。
<b>エ ランドセル及びスクールカバンの贈呈</b> (ア) 新入学生及び市外からの転入生へのランドセルの贈呈 (イ) 中学生へのスクールカバンの贈呈	(ア) 新小学生及び市外からの転入児童へランドセルを贈呈し、保護者の経済的負担を軽減することができた。 (イ) 新中学生へスクールカバンを贈呈し、保護者の経済的負担を軽減することができた(令和2年度の新入生から開始)。
<b>オ 学校給食の充実</b> (ア) アレルギー除去食の提供 (イ) 特色ある献立作り (ウ) 給食費助成による保護者負担の軽減	(ア) アレルギー除去食を開始したことにより、食物アレルギーを有する児童生徒にも、安全で安心な給食を提供することができた。 (イ) 旬の地場産品や地元食材を取り入れ、食に対する子どもたちの正しい知識の定着と魅力のある給食献立の提供により、学校における食育の推進を図ることができた。

【課題(施策目的を達成する上で克服すべきこと)】
<b>ア 科学学習の推進</b> ・日立理科クラブで活動する人材の確保が必要である。 <b>ウ 教育環境の充実</b> ・多様化・深刻化する様々な相談に対応するため、教育相談員の資質の向上を図る必要がある。 <b>オ 学校給食の充実</b> ・アレルギー除去食の提供に当たっては、必要に応じて、マニュアルの改訂とともに、卵・乳以外の除去食の検討を行い、アレルギー対応の実施体制の充実を図る必要がある。

【内容、成果、課題を踏まえた今後の取組の方向性】
<b>ア 科学学習の推進</b> ・日立理科クラブの会員については、企業OBだけでなく、公募によって退職教員など幅広い分野からの人材の確保を進め、事業の持続を図っていく。また、地元大学や市民・地域との連携などにより、科学学習推進事業の拡充を図る。 <b>ウ 教育環境の充実</b> ・発達障害等で特別な配慮が必要な子どもたちへの支援、不登校児童生徒への関わり方や対応などの研修会を実施し、相談員や教職員の相談技術の向上を図る。 <b>オ 学校給食の充実</b> ・「食物アレルギー対応マニュアル」に基づき、食物アレルギー事故を防止し、引き続き安全・安心なアレルギー除去食を提供する。 ・地域の郷土料理や行事献立、季節料理や食材を提供することを通じ、地域の文化や伝統、食べ物の旬等に対する理解と関心を深める。 <b>&lt;目標指標&gt;ICT機器等(プロジェクタ)の整備率</b> 前年度実績を上回っていることから、今後も継続して各施策の推進を図る。

【点検評価委員からの御意見】
・科学学習の推進に見られる取組は、他の市町村にはない日立市独自の特色になっていると考えるので、更に推進してほしい。 ・全児童生徒がタブレットを1人1台持てば、学校での学習だけではなく、社会教育施設での活用(例:QRコード読取による展示品の閲覧、説明など)も可能性があると思う。Wi-Fi環境の整備等課題はあると思うが、実現を検討してほしい。 ・タブレット型PCの拡充やプロジェクタの整備を急いで進めてほしいと考えるが、タブレットだけではなく、社会に出た後に必要となるキーボードの使用方法も、しっかり指導してほしい。 ・食育は家庭を基本に学校と家庭が連携して行うものであり、給食は家庭と学校をつなぐ重要な役割を果たせると考える。

施策名

<「ひたらしさ」を活かした取組>未来を拓く力を育む学校教育

施策を構成する実施計画事業の状況

事業名称	担当課	令和元年度		令和2年度の取組
		実施内容	平成30年度からの変更点	
ア 科学学習の推進	(指)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日立理科クラブの小中授業支援による科学教育の充実</li> <li>○理科室のおじさんの配置(小学校全校)</li> <li>○理数アカデミーの開催(69人参加)</li> </ul>	—	【継続】
イ 未来パスポートの活用	(指)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小・中学校9年間を通して「未来パスポート」を活用した個別面談の充実</li> <li>○自分の良さに気付き、自信をもてる子どもの育成</li> <li>○将来の夢や希望をもち、その実現に向けて頑張る子どもの育成 (全国学力・学習状況調査で「将来の夢や目標を持っている」と回答した割合) R元【小6:86.8%(県平均85.7%)】 【中3:72.1%(県平均72.3%)】</li> </ul>	—	【継続】
ウ 教育環境の充実	(学) (教研) (学施)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小学校において、特別支援学級在籍の児童が交流学級で過ごすことで35人を超える学級に、非常勤講師を配置(3校 4学級 4人)</li> <li>○児童の読書環境の充実のために学校図書事務員を、教育環境の充実のために学校用務員を、それぞれ全小・中学校に配置</li> <li>○小規模校を除く学校に学校事務員を配置</li> <li>○こども発達相談センターの運営</li> <li>○学校訪問相談員による教育相談</li> <li>○適応指導教室「ちゃれんじくらぶ」の運営 (通級児童生徒 18人:多賀教室 9人、日立教室 9人)</li> <li>○タブレット型PC、プロジェクタ等の整備台数の拡充 (タブレット型PC180台拡充、計1,625台) (プロジェクタ40台拡充、計238台)</li> </ul>	—	【拡充】
エ ランドセル及びスクールカバンの贈呈	(学)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小学校の新入学児童への入学祝いとしてランドセルを贈呈し、保護者の負担を軽減</li> <li>○平成29年度から希望者を対象に、市内小学校への転入児童にランドセルを贈呈</li> <li>○令和2年度の中学校の新入学生徒に入学祝いとしてスクールカバンを贈呈し、保護者の負担を軽減</li> </ul>	事業拡充 新中学生へのスクールカバン贈呈	【継続】
オ 学校給食の充実	(北調)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○卵及び乳を取り除いた除去食の提供(北調2名、南調2名)</li> <li>○旬の地場産品などを取り入れた献立や行事食及び郷土料理などを提供</li> </ul>	—	【継続】



## 〔施策7〕＜「ひたちらしさ」を活かした取組＞ 生きがいや喜びを見出す生涯学習

### 施策目的

市民が生きがいや喜びを見出せるような様々な学習機会の提供と自主的な学習活動を支援するとともに、地域や学校でその成果を活かすことができる機会を創出することで、持続的な地域力の向上に取り組めます。

### 目標指標

施策の柱		目標指標	基準値	実績値	目標値	出典
			(H30)	(R元)		
2 生涯学習	① 市民の自主的な生涯学習活動への支援と環境整備	今住んでいる地域の行事に参加している割合	小 52.8% 中 45.4%	小 65.2% 中 52.2%	小 58.0% 中 51.0%	全国学力・学習状況調査
		※生涯学習に取り組んでいる人の割合	38.2% (H28)	—	42.0%	市民ニーズ調査



移動図書館で本が身近に！〔たかすず号〕

**施策No.⑦**

**施策評価調書 (様式1)**

評価対象年度 令和元年度

施策名	<「ひたちらしさ」を活かした取組>生きがいや喜びを見出す生涯学習
担当課	生涯学習課、記念図書館

**【施策目的】**  
 市民が生きがいや喜びを見出せるような様々な学習機会の提供と自主的な学習活動を支援するとともに、地域や学校でその成果を活かすことができる機会を創出することで、持続的な地域力の向上に取り組みます。

【令和元年度における取組の内容】	【令和元年度における取組の成果】
<b>ア 職業探検少年団への支援</b> (ア) 職業探検少年団への活動支援 (イ) 食品工場など企業施設合同見学会の開催支援	(ア) 子どもたちに職業や仕事について、見たり、聞いたり、体験したりする場を提供することによって、子どもたちの勤労観や職業観を育てることができた。
<b>イ ラジオ体操の普及推進</b> (ア) ラジオ体操実施団体への支援 (イ) 全国ラジオ体操連盟公認指導者資格取得に対する支援 (ウ) 指導員及び指導士の派遣 (エ) 「日立市一斉ラジオ体操の日」の実施 (オ) 「介護予防と映画の集い」でのラジオ体操に関する講演会の実施 (カ) コミュニティと連携した市民への認知普及活動の推進 (キ) 日立市ラジオ体操普及協議会への支援 (ク) 指導員資格取得者に対するフォローアップ研修会の実施(新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止)	(イ、ウ、オ) 様々な取組により、ラジオ体操を正しく行うことによる効果の普及をすることができた。 (エ、カ) 地域の方の交流の場にもなり、積極的に取り組む機会を設けることができた。
<b>ウ ひたち生き生き百年塾の活動推進</b> (ア) 社会教育指導員の配置 (イ) ひたち生き生き百年塾への運営支援 (ウ) 百年塾フェスタの開催支援 (エ) 部会事業及び組織の見直し(新みらい委員会)	(エ) 設立30周年を契機に、新みらい委員会において、事業及び組織について見直しを行い、新体制の構築など活動の活性化を図ることができた。
<b>エ 移動図書館車の運行</b> (ア) 移動図書館車による図書の巡回貸出サービスの推進 (イ) 各種イベント会場での移動図書館車による出張貸出と利用者拡大の推進 (ウ) 巡回先の拡充等による移動図書館車の利用促進 (エ) 移動図書館車の更新	(イ) 各種イベント会場にて、移動図書館車の周知や、おはなし会を実施する等、広く読書意識の啓発を行った。 (ウ) 新たに夏休みの児童クラブを巡回し、子どもたちの読書活動の推進を図った。 (エ) 老朽化した移動図書館車を更新し、利便性を向上させた。

**【課題(施策目的を達成する上で克服すべきこと)】**

**ア 職業探検少年団への支援**  
 ・ボランティアの指導員が高齢化しており、活動の継続のための人材の確保、育成が必要である。  
**イ ラジオ体操の普及推進**  
 ・指導員の登録者数は増加しているが、実際に外部で指導できる指導員の数が限られている。  
**ウ ひたち生き生き百年塾の活動推進**  
 ・市民教授の登録方法の再検討、地域コミュニティと連携した活動が必要である。  
**エ 移動図書館車の運行**  
 ・子どもや図書館に来館できない方に読書の機会をより広く提供するため、運行日数等の増加を検討する必要がある。

**【内容、成果、課題を踏まえた今後の取組の方向性】**

**ア 職業探検少年団への支援**  
 ・指導者等のボランティアや協力団体を確保する取組や、地域における人材の確保・育成についての取組を推進する。  
 ・子どもたちに様々な職業体験の機会を提供するため、市内企業等の協力を得て新たな団の設立など拡充の検討を進める。  
**イ ラジオ体操の普及推進**  
 ・子どもから高齢者まで、全ての世代の市民の運動不足解消と健康増進を図る「ひたち発 ラジオ体操 それ♪ 1 2! 3!!」事業を実施する。  
 ・指導員全体の指導力向上を図る。  
**ウ ひたち生き生き百年塾の活動推進**  
 ・市民教授については、近隣市町村等を調査し、市民教授の登録基準や活用方針等を再検討する。  
**エ 移動図書館車の運行**  
 ・更新された移動図書館車を活用して、運行内容の更なる拡充を行い、広く読書の機会提供と意識啓発を図る。  
**<目標指標>今住んでいる地域の行事に参加している割合**  
 前年度実績を上回っていることから、今後も継続して各施策の推進を図る。

**【点検評価委員からの御意見】**

・職業探検少年団は、日立市が誇れる取組である。将来の夢実現へと歩んでいる団員もおり、うれしい限りである。  
 ・職業探検少年団はすばらしい取組であるが、休日の活動が多いと思う。スポーツ少年団の子どもたちなどは大会があり参加できないことが多いので、参加できる方法を検討してほしい。  
 ・「日立市一斉ラジオ体操の日」や、今年の「ひたち発 ラジオ体操 それ♪ 1 2! 3!!」の取組は話題になった。これからもラジオ体操の普及推進を図ってほしい。



施策名

<「ひたちらしさ」を活かした取組>生きがいや喜びを見出す生涯学習

施策を構成する実施計画事業の状況

事業名称	担当課	令和元年度		令和2年度の取組
		実施内容	平成30年度からの変更点	
ア 職業探検少年団への支援	(習)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○企業やボランティアとの協働により活動を行っている特徴ある11少年団を支援(農業、林業、水産業、ものづくり、パソコン、福祉、科学、建築デザイン、観光、メディア、あきんど)(令和元年度活動修了者数 147人)</li> </ul>	—	【拡充】
イ ラジオ体操の普及推進	(習)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○夏休み期間の生活習慣の改善、運動習慣の定着、地域の交流の場として、「チャレンジラジオ体操」を実施(参加者数 2,173人)</li> <li>○ラジオ体操チラシ、ポスターの作成</li> <li>○ラジオ体操指導員育成及び派遣(研修会指導員派遣 10回、研修会参加者数 1,163人)</li> <li>○日立市一斉ラジオ体操の日の実施                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・7月21日(夏休み最初の日曜日)(参加者数 1,903人)</li> </ul> </li> <li>○「介護予防と映画の集い」での講演会の実施(参加者数 650人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「介護予防と映画の集い」でラジオ体操を題材にした映画の上映に合わせ、ラジオ体操講演会を実施</li> </ul>	【継続】
ウ ひたち生き生き百年塾の活動推進	(習)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市民の生涯学習活動支援による人づくり及びまちづくりを推進                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民教授生き生き講座(20講座/参加者数 348人)</li> <li>・コミュニティ連携講座(10講座/参加者数 266人)</li> <li>・百年塾フェスタ(参加者数 約8,000人)</li> <li>・市民教授登録者数(令和2年3月末 221人)</li> <li>・地域における子どもの活動支援事業(10講座/参加者数 239人)</li> </ul> </li> </ul>	—	【大幅改善】
エ 移動図書館車の運行	(記図)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○移動図書館車による図書の巡回貸出サービスの推進                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・巡回箇所55か所、運行日数150日</li> </ul> </li> <li>○各種イベント会場での移動図書館車による出張貸出と利用者拡大の推進                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・日立さくらまつり(4月6日)</li> <li>・ひたち国際大道芸2019(5月11日)</li> <li>・エコフェスひたち2019(7月20日)</li> <li>・百年塾&amp;子どもまつり2019(10月20日)</li> <li>・としょかんまつり2019(12月7日)</li> </ul> </li> <li>○巡回先の拡充等による移動図書館車の利用促進                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休みの児童クラブへの巡回(児童クラブ24か所)</li> </ul> </li> <li>○移動図書館車の更新</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休みの児童クラブへの巡回</li> <li>・移動図書館車の更新</li> </ul>	【拡充】





## 〔施策8〕＜「ひたちらしさ」を活かした取組＞ 健康と活力を生み出すスポーツ

### 施策目的

スポーツは、心身の健全な発達や健康の増進に重要であるとともに、人と人との交流を促進して、コミュニティの活性化などにも寄与するため、市民が様々な形で積極的にスポーツに参加し、親しむことができるよう、ソフト・ハード両面にわたる環境の整備を目指します。

### 目標指標

施策の柱		目標指標	基準値 (H30)	実績値	目標値 (R5)	出典
				(R元)		
3 スポーツ	① 生涯スポーツ社会 実現に向けたスポ ーツ環境の充実	教育委員会スポーツ施 設の利用者数	787,503 人	776,785 人	830 千人	市独自指標値



満開の桜と海が楽しめる日立さくらロードレース

**施策No.⑧**

**施策評価調書 (様式1)**

評価対象年度 令和元年度

施策名	<「ひたちらしさ」を活かした取組>健康と活力を生み出すスポーツ
担当課	スポーツ振興課

**【施策目的】**

スポーツは、心身の健全な発達や健康の増進に重要であるとともに、人と人との交流を促進して、コミュニティの活性化などにも寄与するため、市民が様々な形で積極的にスポーツに参加し、親しむことができるよう、ソフト・ハード両面にわたる環境の整備を目指します。

**【令和元年度における取組の内容】**

ア 池の川さくらアリーナの活用推進  
 (ア) 各種スポーツ大会の開催  
 (イ) オリンピック事前キャンプの誘致

**【令和元年度における取組の成果】**

(ア) 国体を始め各種大会を開催し、スポーツの拠点として活用を図った。  
 (イ) バレーボール女子ロシアナショナルチームと日立市で東京2020オリンピック競技大会事前キャンプを行う基本合意書を締結した。

イ 日立さくらロードレースの開催  
 (ア) 日立さくらロードレースの開催

(ア) さくらまつりと連携して開催したことにより、まちのにぎわいを創出するとともに、健康づくりと交流人口の拡大を図ることができた。

ウ スポーツ少年団の活動支援、指導者育成  
 (ア) スポーツ少年団の活動支援  
 (イ) スポーツ少年団等の指導者育成

(ア) 日立市体育協会を通じたスポーツ少年団の運営支援を行い、円滑な組織運営に寄与することで、子どもたちがスポーツに親しむ機会を提供することができた。  
 (イ) 研修派遣等により生涯スポーツの指導を担うスポーツ推進委員の質の向上を図るとともに、スポーツ推進委員の企画による社会体育指導者講習会を開催し、指導者の育成を図ることができた。

**【課題(施策目的を達成する上で克服すべきこと)】**

ア 池の川さくらアリーナの活用推進  
 ・アリーナの活用のための基準(優先予約)の整理が必要である。  
 ・東京2020オリンピックの延期により、事前キャンプの受入計画を練り直す必要がある。  
 イ 日立さくらロードレースの開催  
 ・今後とも多くのランナーの参加を募るため、他のロードレースのイベント等を参考にして新たな魅力を創出する必要がある。  
 ウ スポーツ少年団の活動支援、指導者育成  
 ・児童・生徒数の減少に伴い、スポーツ少年団の団員数が減少している。

**【内容、成果、課題を踏まえた今後の取組の方向性】**

ア 池の川さくらアリーナの活用推進  
 ・ロシアチームとは東京2020オリンピックが延期となっても日立市で事前キャンプを行う意思が確認できていることから、競技日程等が明らかになった時点で新たな受入準備を進める。  
 イ 日立さくらロードレースの開催  
 ・日立さくらロードレースの魅力向上のためフルマラソンの部創設等について検討する。  
 ウ スポーツ少年団の活動支援、指導者育成  
 ・スポーツ少年団本部や日立市体育協会等と連携を図り、スポーツ少年団への支援について検討する。  
**<目標指標>教育委員会スポーツ施設の利用者数**  
 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、令和2年3月5日以降の屋内施設を休館したことが利用者減の要因である。  
 今後、新型コロナウイルス感染対策を講じてより安全な利用を推進するよう努めていく。

**【点検評価委員からの御意見】**

・池の川さくらアリーナ周辺が、日頃からのスポーツを通して多くの市民が利用しやすくなるように、例えばフットサル場などの設備を増やした方が良く考える。  
 ・日立さくらロードレースは、さくらまつりと連携して全国的なイベントになっており、日立の特色ある行事の一つになっていると考える。  
 ・日立さくらロードレースは、今後フルマラソンの部の創設等、参加者を拡大する方向で検討されていると思うので、県外からの多くの参加者を迎えられるように、駐車場や宿泊設備の充実を検討してほしい。  
 ・スポーツ少年団は、将来にわたってスポーツの楽しさを培う大切な活動であり、スポーツ少年団の指導者の育成も重要である。

施策名 <「ひたちらしさ」を活かした取組>健康と活力を生み出すスポーツ

施策を構成する実施計画事業の状況

事業名称	担当課	令和元年度		令和2年度の取組
		実施内容	平成30年度からの変更点	
ア 池の川さくらアリーナの活用推進	(スポ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○オリンピック事前キャンプの誘致</li> <li>・オリパラキャンプ会議出席</li> <li>・県オリ・パラ課等現地調査</li> <li>・NOC団長セミナーでの事前キャンプ誘致活動</li> <li>・ロシアバレーボール協会池の川さくらアリーナ視察受入</li> <li>・ロシアバレーボール協会と事前キャンプに関する基本合意書締結</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ニュージーランドサーフィンチームにオリンピック事前キャンプを行う意思がないことが確認されたため、招致活動を打ち切った。</li> </ul>	【継続】
イ 日立さくらロードレースの開催	(スポ)	○第19回日立さくらロードレース開催(申込者数16,947人)	—	【拡充】
ウ スポーツ少年団の活動支援、指導者育成	(スポ)	○日立市体育協会を通じたスポーツ少年団本部の運営支援(小学生加入者数2,204人、加入率28.2%)	—	【継続】

※ 日立さくらロードレースについて、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から大会を中止しました。

### 3 目標指標の達成状況(日上市教育振興基本計画)

日上市教育振興基本計画では、計画の最終年度(令和5年度)までに達成したいと考える目標水準を数値化して、数値目標を設定しています。

目標値に対する各年度の実績を把握し、達成状況を踏まえた上で、今後の各施策の推進に努めていきます。

施策の柱	目標指標	基準値 (H30)	実績値					目標値 (R5)	出典	
			(R元)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)			
1 学校教育	① 確かな学力の定着と活用する力の育成	算数・数学の授業の内容がよく分かる割合	小 84.2% 中 72.5%	小 86.1% 中 79.1%					小 85.0% 中 76.0%	全国学力・学習状況調査
	② 子ども一人一人に寄り添う教育の推進	学校生活に満足している割合	小 61.0% 中 70.0%	小 65.8% 中 62.1%					小 65.0% 中 75.0%	hyper-QU
	③ 豊かな心と健やかな体を育む教育の充実	体力・運動能力調査における総合評価(A+Bの割合)	小 64.3% 中 70.1%	小 62.7% 中 67.4%					小 65.0% 中 70.5%	全国体力・運動能力調査
	④ 次代を担う力を磨き高める教育の推進	中学3年生の英語の熟練度(英検3級程度以上)の割合	40.5%	53.6%					50.0%	英語教育実施状況調査
	⑤ 学習環境の充実と地域とともにある魅力ある学校づくり	IOT機器等(プロジェクタ)の整備率	38.5%	53.0%					80.0%	市独自指標値
	⑥ すべての子どもたちが安全・安心に過ごせる居場所づくり	放課後子ども教室の開設数	3か所	5か所					25か所	市独自指標値
	⑦ よりよい教育環境づくりのために	児童生徒一人一人のよい点や可能性を見つけ、褒める取組を行った学校の割合	小 68.0% 中 80.0%	小 72.0% 中 93.3%					小 100% 中 100%	全国学力・学習状況調査
2 生涯学習	① 市民の自主的な生涯学習活動への支援と環境整備	今住んでいる地域の行事に参加している割合	小 52.8% 中 45.4%	小 65.2% 中 52.2%					小 58.0% 中 51.0%	全国学力・学習状況調査
		※生涯学習に取り組んでいる人の割合	38.2% (H28)	—					42.0%	市民ニーズ調査
	② 地域や家庭における教育力の向上	地域の大人に勉強やスポーツを教わっていると感じている割合	小 41.7% 中 27.8%	設問無					小 50.0% 中 35.0%	全国学力・学習状況調査
※地域における教育の取組が行われていると感じている保護者の割合		37.3% (H29)	—					50.0%	教育振興基本計画調査	
③ 多様な文化・芸術の推進	郷土博物館の入館者数	16,627人	14,766人					20,000人	市独自指標値	
3 スポーツ	① 生涯スポーツ社会実現に向けたスポーツ環境の充実	教育委員会スポーツ施設の利用者数	787,503人	776,785人					830千人	市独自指標値
	② 競技力の向上とスポーツ団体等の活性化	全国大会補助申請実績件数	119件	121件					127件	市独自指標値
	③ スポーツを通じた交流人口の拡大	スポーツ合宿に伴うスポーツ施設利用件数	9件 (H30.7~H31.1)	11件					30件	市独自指標値

## 第3章 教育委員会の活動状況

### 1 教育委員会

教育行政については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律により教育委員会の職務権限が規定され、その運営は同法に基づき任命される教育長及び委員の合議によって行われています。

日立市では、教育長及び4人の委員が議会の同意を得て市長に任命され、教育行政を担っています。(任期:教育長 3年、委員 4年)

教育長は、教育委員会の会議を主宰し、教育委員会を代表するとともに、教育委員会の権限に属する全ての事務をつかさどります。これらの事務を処理するため、教育長の下に事務局を設置しています。

[教育委員]

職名	氏名	現任期
教育長	折笠修平	R元.12.25～R4.12.24
委員(教育長職務代理者)	中村雅利	H28.12.25～R2.12.24
委員	上村由美	R元.10.1～R5.9.30
委員	朝日華子	R元.7.1～R5.6.30
委員	土屋静治	H29.10.2～R3.10.1

R2.5.1現在

### 2 教育委員会の会議の状況

#### (1) 教育委員会

##### ア 開催状況

定例会(毎月開催)	12回
臨時会	6回
傍聴者数	延べ12人

※会議録については、教育委員会ホームページで公開

イ 審議の状況及び内容

内 容	件数
教育に関する事務の管理及び執行の基本的な方針 (予算の提案を含む。)	9件
教育委員会規則などの制定又は改廃	8件
法令又は条例に定めのある附属機関の委員の任命及び委嘱	13件
教科書の採択に関する事	7件
職員(教職員)の人事に関する事	5件
工事の請負契約等の締結	4件
その他	1件

(2) 教育委員協議会

ア 開催回数 12回

イ 主な内容

- ・ 日上市教育大綱について
- ・ (仮称)日上市立学校再編計画について
- ・ 日上市子ども読書活動推進計画について
- ・ 児童生徒のいじめ、不登校の状況等について
- ・ 全国学力・学習状況調査の結果について
- ・ 教育課程実施状況及び分析について
- ・ 「日立の学校教育」について
- ・ その他各施策、事業等の方針に関する協議等



### 3 教育委員の活動

---

教育委員は、月1回の定例会や不定期の臨時会のほか、総合教育会議への出席、市立小・中学校の入学式・卒業式への出席、学校長・園長連絡会議への出席、学校・幼稚園訪問、各種教育団体の行事や研修会に参加しています。

#### (1) 総合教育会議

市長と教育委員会が教育行政に関する協議・調整を行うために、市長が設置した会議に出席しました。

ア 開催回数 年1回

イ 出席者 市長、副市長、教育長、教育委員、市長公室長、保健福祉部長、教育部長、関係各課所長及び事務局等職員

#### (2) 学校長・園長連絡会議

教育委員会と学校及び幼稚園間の情報の共有化を図る機会として、会議に出席しました。

ア 開催回数 年2回

イ 出席者 教育委員、教育長、教育部長及び事務局等職員並びに各市立小・中・特別支援学校長、市立幼稚園長及び市立認定こども園長

#### (3) 学校・幼稚園訪問

学校及び幼稚園の現状や課題について、教育委員が直接見聞するため、学校等を訪問し、校長や園長等の管理職や教務主任等の一般職との意見交換を行いました。(18校訪問)

#### (4) 教育委員研修等

茨城県市町村教育委員会連合会等が主催する研修会等への参加や各種行事へ参加し、教育に関する情報収集や意見交換を行いました。



## 第4章 教育行政点検評価委員からの御意見

### 1 岩波 英一 委員

本市の教育理念「未来を拓く人づくり」を掲げ、教育振興基本計画の下、8項目の施策が位置付けられました。私は、計画の特徴である「未来を拓くプロジェクト」と「『ひたちらしさ』を活かした取組」の2つの観点から、意見を述べたいと思います。

「未来を拓くプロジェクト」では、確かな学力の育成が重要な視点と考えます。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、学校の教育カリキュラムの達成が難しい中、よりきめ細かな教育計画が要求されます。その中で、本市は外国語指導助手ボランティアの配置や、今年度から必修化されたプログラミング教育のハンドブック作成などを実施しており、教育現場をバックアップするとても心強い取組がなされていると感じました。

また、情報活用能力の育成では、社会のグローバル化や技術革新の急速な進歩の中、未来に生きる子どもたちに培うべき資質をしっかりと身に付けさせることも求められます。今は、パソコンやスマホで簡単に世界とつながってしまう時代なので、その便利さと危険さを併せて指導していかなければならないと考えます。子どもたちが情報モラルや情報を正しく活用するための知識を習得できるような取組を期待します。

教育環境の向上という点からは、エアコンの設置やトイレの改修など、学校施設の整備が具体的に実施されていることについて評価するとともに、継続した取組に期待します。

学校再編では、第一に児童生徒の立場を優先し、これからの子どもたちの未来に向かって、より良い環境を保障することが責務と考えます。

「『ひたちらしさ』を活かした取組」では、他市町村にはない施策がたくさんあり、本市独自の特色ある教育が実践され、成果を上げていることを評価します。特に、未来を拓く力を育む学校教育の科学学習の推進においては、日立理科クラブが各学校に欠かせない存在となっており、学校の教育計画の中でも大切な役割を担っていることを評価します。

また、情報教育環境の整備として、本市はタブレット型PCを整備しておりますが、その活用については、本市ならではの活用方法も大切であると考えており、市内の教育施設で、タブレットを活用した教育が展開できるようなソフト面での整備が必要であると考えます。科学館のリニューアルに伴い、「科学の街をひたちの文化に」という構想を立てていることから、子どもたちのニーズに応じたソフト開発の推進が必要と考えます。

生きがいや喜びを見出す生涯学習として、職業探検少年団やひたち生き生き百年塾の活動は、本市の特色ある活動と考えますので、これからの更なる活動推進に期待します。

健康と活力を生み出すスポーツについて、池の川さくらアリーナは、本市のスポーツの拠点として大きな存在に成長しており、日立さくらロードレースも日立さくらまつりと共に全国的に認知される大会になっています。市民が楽しんでスポーツできる環境が、心身の健全な発達や健康の増進につながりますので、スポーツ環境整備により一層心を配って取り組まれることを願います。

岩波 英一

## 2 黒澤 秀子 委員

---

令和2年度に示された報告書から、本市における「未来を拓くプロジェクト」及び「『ひたちらしさ』を活かした取組」に位置付けられた施策の推進がなされ、成果を上げていることが全体として感じ取れました。

「未来を拓くプロジェクト」では、「確かな学力の育成」として学校教育における児童生徒たちの学力の実績値が前年度の基準値を超えるなど向上していることから、先生方が様々な指導方法に取り組まれていることがよく分かりました。

一方、児童生徒の体力・運動能力の実績と、学校生活に満足している中学生の割合が下がっていることは今後の大きな課題と考えます。中学校においては、日立市における生徒数の減少や男女のバランスに差が出ていることで、充実した体育の授業や部活動に支障を来すことや、生徒間の人間関係に影響を及ぼすことも要因の一つであるかとも推察され、引き続き改善に取り組まれることを願っています。

「教育環境の向上」では、施設整備として全普通教室等へのエアコン設置が完了したことは、近年の生命にも関わる異常気象から見て、児童生徒や保護者のみならず市民にとっても安堵できる大きな成果だと思えます。

そうした中、思いもよらぬ世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大は、学校教育にとってどれほどの大きな影響を与えているか計り知れませんが、学校生活はもちろんのこと、「放課後や休日の活動環境の充実」の順調な推進を阻むコロナ禍による様々な規制や自粛は、今も今後も大きな課題として突き付けられています。今だからこそ地域が一体となって、多方面との連携の仕組みを構築する機会と捉え、私たち市民もでき得る限り力を尽くしたいと思う次第です。

コロナ禍は悪いことばかりでなく、子どもたちは、自粛生活の中で家族や友達の大切さ、学校の楽しさ、そして今までの何気ない日常生活がどんなに幸せなことかをしっかりと感じています。令和元年策定の日立市教育大綱に掲げられています『家族が好き』『学校が好き』『ひたちが好き』の方向性は、コロナ禍に打ち勝つ大きな柱であり、大綱推進に向けた力になると思えます。

市民の側としても、「放課後子ども教室」等を始めとした地域に対する積極的な参加や支援、今の社会の状況を考慮した新たな魅力ある活動やイベントの創出などにより、ひたちらしさを生み、子どもたちの未来を拓くことにつながると考えます。

最後に、私たちが余り経験しない今の困難な社会情勢の中で、子どもたちの生活及び教育格差などが更に広がることなく、誰もが夢と希望に満ちた未来を描けるような社会を築き残していきたいと心から願っています。

黒澤 秀子

### 3 木村 雅史 委員

---

令和元年度に行われた日立市の教育への取組について説明を受け、基本理念である「未来を拓く人づくり」に向けて数多くの施策が着実に進められていることが分かりました。

「未来を拓くプロジェクト」では、普通教室へのエアコンの設置、トイレの改修工事や校舎の改築などの子どもたちが学びやすい環境作りや、放課後子ども教室のように学校が終わっても子どもたちが安全に過ごせる場所を作る事業のお陰で、私たち保護者は安心して子どもたちを送り出すことができていると感じます。

また、日立市ならではの施設である郷土博物館や日立シビックセンター科学館天球劇場などでの学びや体験は、子どもたちが楽しみながら学習できるので、とても良いことだと思います。

「『ひたちらしき』を活かした取組」では、小学校新入生にランドセル、中学校新入生にはスクールカバンを贈呈していただき、保護者としては大変助かる事業です。また、職業探検少年団は多くの企業などの協力をいただき、子どもたちが普段はなかなか体験することができない日立市の産業を学ぶとても良い事業だと思います。

このような「ひたちらしい」他の市にはない特色ある事業は、子どもたちの記憶にいつまでも残り、日立市の未来にもつながると思いますので、ぜひ継続して進めてください。

ただし、全ての事業に力を入れることは難しいと思いますので、常に今の世の中に合った事業の選別と、スピード感を持った選択を引き続きお願いします。

令和2年の新型コロナウイルス感染症拡大防止対策では、臨時休校の決定や延長など、教育委員会は今後も非常に早い判断が求められます。

その中でも、タブレット型PCを全児童生徒が使用できるように情報教育環境を整備する、熱中症対策のために夏の授業日に毎日冷水ペットボトルを配布する、今まで部活動を頑張ってきた子どもたちのために、中止となった中学校総体の代替大会を開催する、学校サポート有償ボランティアで雇用の確保と先生方の負担を軽減するなど、コロナ禍で多くのことが制限されている中で、子どもたちと私たち保護者や市民の心と生活と安全をサポートするための事業を展開いただいております。先が見えない状況ではありますが、これからも安全・安心に学べるように設備の改善や感染防止対策などを重点的にお願いします。

今回の評価報告を受けた際、「事業を進めるためにアイデアを出してほしい」との声掛けをいただきました。多くの意見を取り入れて、その中から時代にあった新しい事業を検討していくことはとても良いことだと思いますので、新しい意見を取り入れながら日立市の教育はすごい！ところを多くの方々に知ってもらい、日立市の活性化につなげていただきたいと思います。

これからの日立市の“教育”に期待しています。

木村 雅史



令和2年度

教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の  
点検及び評価の結果に関する報告書（対象年度：令和元年度）

---

日立市教育委員会総務課  
日立市助川町1丁目1番1号  
電話 0294-22-3111(代)  
050-5528-5121